

資料

シンポジウムプログラム

チラシ

参加者アンケート

アンケート結果

東京会場の様子

大分サテライト会場の様子

～ 子どもたちに残す、強く新しい日本のために。～

豊予海峡ルート推進シンポジウム

《プログラム》

日時：令和4年5月30日（月） 13時30分～16時
会場：ザ・キャピトルホテル東急 1階 大宴会場「鳳凰」
大分サテライト会場
主催：大分市 後援：大分県
愛媛県
(公社) 日本青年会議所
豊予海峡ルート推進協議会

13:30 【開会】

開会挨拶 大分市長 佐藤 樹一郎
来賓挨拶

14:00 【第1部 基調講演】

基調講演

演題：『レジリエントな国土の創造を目指して』
講師：奥野 信宏 名古屋都市センター長（前国土交通省 国土審議会 会長）

～～～休憩（10分間）～～～

14:35 【第2部 パネルディスカッション】

「豊予海峡ルートが持つ意義－子どもたちへ繋ぐ、強く新しい国土－」

コーディネーター：豊田 啓勤 (一社) 八代青年会議所
(公社) 日本青年会議所 2021年度
国家グループ国土強靱化委員会 委員長

パネリスト：大石 久和 (一社) 全日本建設技術協会 会長／
元国土交通省 技監／第105代土木学会 会長
金山 洋一 富山大学 都市デザイン学部
都市政策支援ユニット長
都市・交通デザイン学科 教授

矢田部 龍一 愛媛大学 防災情報研究センター特命教授／
愛媛大学 名誉教授

橋本 均 大分商工会議所／大分経済同友会／
株式会社マリーンパレス 代表取締役 社長

高門 清彦 伊方町長

佐藤 樹一郎 大分市長

16:00 閉会

子どもたちに残す、強く新しい日本のために。

豊予海峡ルート 推進シンポジウム



2022.5.30 (月)
13:30~16:00 (開場 13:00)

東京会場 ザ・キャピトルホテル東急
1階 大宴会場「鳳凰」
(東京都千代田区永田町2-10-3)

大分サテライト会場 J:COMホルトホール大分
3階「大会議室」
(大分市金池南1-5-1)

参加費無料 (要申込み)

東京会場 先着100名	大分サテライト会場 先着100名	WEB視聴 先着100名
---------------------------	--------------------------------	----------------------------

申込期間: 2022.4.18 (月)~5.18 (水)

プログラム

13:30 開会 開会挨拶・来賓挨拶

14:00 第1部 基調講演



「レジリエントな
国土の創造を目指して」

【講師】奥野 信宏氏
名古屋都市センター長
前 国土交通省 国土審議会 会長

(休憩)

14:35 第2部 パネルディスカッション



「豊予海峡ルートが持つ意義
— 子どもたちへ繋ぐ、
強く新しい国土 —」

【コーディネーター】豊田 啓勤氏
一般社団法人 八代青年会議所

(パネリスト)



大石 久和氏
全日本建設技術協会 会長 /
元 国土交通省 技監 /
第105代土木学会 会長



金山 洋一氏
富山大学 教員再生・整備
支援センター長 /
富山大学 都市 交通デザイン学科 教授



矢田部 龍一氏
愛媛大学 名誉教授 /
愛媛大学 防災情報研究センター
特命教授



橋本 均氏
大分商工会議所 /
大分経済同友会



高門 清彦氏
愛媛県伊方町長



佐藤 樹一郎
大分市長

16:00 閉会

【主催】: 大分市 【後援】: 大分県・愛媛県・(公社)日本青年会議所・豊予海峡ルート推進協議会

豊予海峡ルートについて

豊予海峡ルートの整備は、唯一陸路で結ばれていない九州と四国を繋げることにより、新たな国土軸を形成するものです。

これは、九州・四国において、観光需要の拡大や地域産業の発展に大きな効果をもたらすだけでなく、日本全体のさらなる成長やリダンダンシーの確保にも重要な意義を持ちます。

大分市では、豊予海峡ルートの整備によってもたらされる経済・社会効果の調査や、豊予海峡ルートに関する有識者の意見をまとめた論集の作成など、さまざまな取組を進めています。



大分市から豊予海峡と四国を望む

大分市豊予海峡ルート調査業務の結果や論集については、大分市HPで公開しています。【大分市HP】 [豊予海峡ルートに関する情報](#) 🔍 検索

会場案内

東京会場 ザ・キャピトルホテル東急

1階 大宴会場「鳳凰」
 東京都千代田区
 永田町2-10-3
 TEL 03-3503-0109

◆地下鉄千代田線・丸ノ内線「国会議事堂前駅」、銀座線・南北線「溜池山王駅」直結

大分サテライト会場 J:COMホルトホール大分

3階「大会議室」
 大分市金池南1-5-1
 TEL 097-576-7555

◆JR「大分駅」から徒歩2分

参加方法 ①または②のいずれかの方法によりお申込みください

① 電子申請（二次元コードまたはURLよりお申込みください）

〈東京会場〉

◆プログラムは、東京会場にて行います。
 【URL】 <https://www.egov-oita.pref.oita.jp/5aULEIQ>



〈大分サテライト会場〉

◆WEB配信を大画面でご視聴いただけます。
 【URL】 <https://www.egov-oita.pref.oita.jp/3x5j9zFB>



〈WEB視聴〉

◆後日視聴用のURL等をお送りいたします。
 【URL】 <https://www.egov-oita.pref.oita.jp/lc6bQNoD>



② FAX（FAX申込書に必要事項を記載の上、大分市企画部企画課まで送信してください） 送信先：097-534-6182



愛媛県伊方町から豊予海峡と九州を望む

感染症対策について

- ◆ご来場の方は、入口での検温、アルコール手指消毒、会場内でのマスク着用にご協力ください。発熱のある方は、入場をお断りする場合がございます。ご了承ください。
- ◆東京都又は大分県において新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令されたとき等は、内容の変更や中止をさせていただく場合がございます。

FAX申込書

職業 (所属団体)	氏名(フリガナ) 例：豊予 太郎 (ホウヨ タロウ)	年齢 例：40代	連絡先 (WEB視聴の場合はメール必須)	参加方法 (東京／大分／WEB)

お問い合わせ 大分市企画部企画課 TEL 097-537-5603 FAX 097-534-6182

「豊予海峡ルート推進シンポジウム」参加者アンケート

本日は、シンポジウムにご参加いただき、誠にありがとうございます。
今後の活動の参考にさせていただくため、以下のアンケートにご協力をお願いします。
各設問について、該当する項目に「○」や必要事項の記入をお願いします。
※右記にある2次元コードを読み取り、ご回答いただくことも可能です。



参加者アンケート

Q1 今回のシンポジウムの前から、豊予海峡ルートの構想があることを知っていましたか。

※豊予海峡ルート等の海峡部を連絡するプロジェクトは、長期的視点から取り組む方針が示されている。

1.(内容についても)よく知っていた 2.聞いたことはあるが内容は知らなかった 3.知らなかった

Q2 今回シンポジウムに参加され、豊予海峡ルートの意義・必要性が理解できましたか。

1.よく理解できた 2.ある程度理解できた 3.理解できなかった

Q3 豊予海峡ルートについて、あなたはどのように思いますか。

1.ぜひ進めるべき 2.どちらかといえば進めるべき 3.進める必要はない 4.わからない

Q4 Q3で「1, 2」(進めるべき)と回答された方にお伺いします。具体的な理由は何ですか。(複数回答可)

1.日本全体の発展 2.移動時間の短縮 3.交流人口拡大による観光振興・経済活性化
4.災害時の代替ルートの確保 5.企業立地のサプライチェーンの拡大 6.四国・九州などの魅力向上
7.その他()

Q5 Q3で「3」(必要はない)と回答された方にお伺いします。具体的な理由は何ですか。(複数回答可)

1.多額の費用が必要 2.他に優先すべき事業がある(具体例:)
3.既存の交通機関で十分 4.その他()

Q6 豊予海峡ルート実現に向けて、課題と思われるものは何ですか。(複数回答可)

1.地域住民の機運醸成 2.必要性への理解 3.整備のための財源 4.施工技術の向上
5.周辺自治体の推進体制 6.その他()

Q7 本日のシンポジウムに参加されてのご感想、ご意見等を自由にお書きください。

Q8 ご自身についてお伺いします。

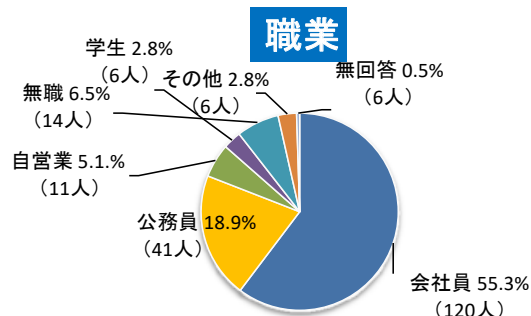
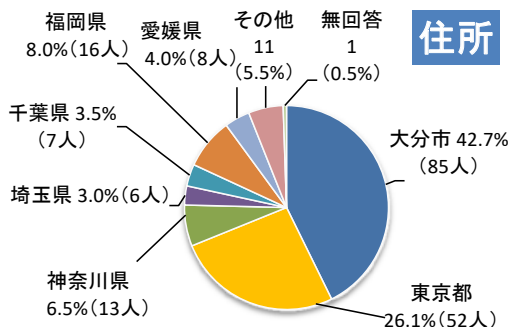
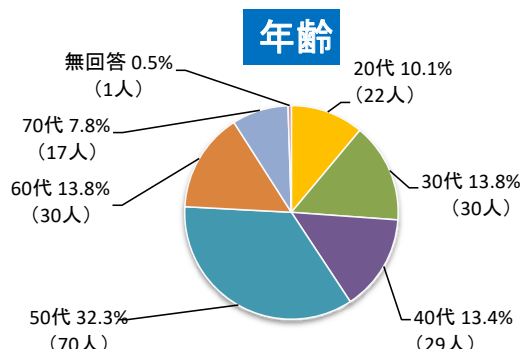
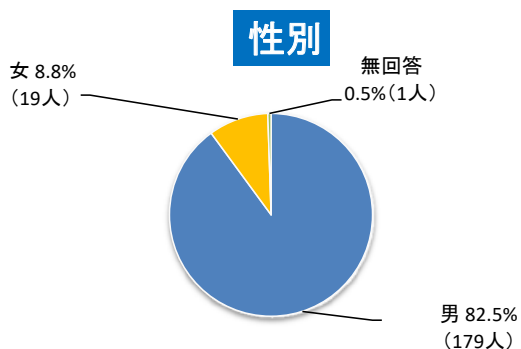
性別	1. 男性	2. 女性	3. その他				
年齢	1. 20歳未満	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60代	7. 70才以上
住所	1. (都/道/府/県 市/町/村)						2. その他()
職業	1. 会社員 2. 公務員 3. 自営業 4. 大学生 5. 高校生 6. 無職 7. その他()						

ご協力ありがとうございました。

大分市企画部企画課

<R4.5.30(月)開催 豊予海峡ルート推進シンポジウム アンケート結果>

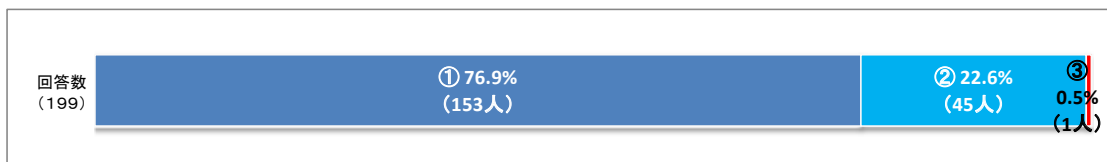
参加者数	301人	回答者数	199人	回答率	66.1%
(内訳) 東京会場	93人	東京会場	90人	東京会場	96.8%
大分サテライト会場	94人	大分サテライト会場	64人	大分サテライト会場	68.1%
WEB視聴	114人	WEB視聴	45人	WEB視聴	39.5%



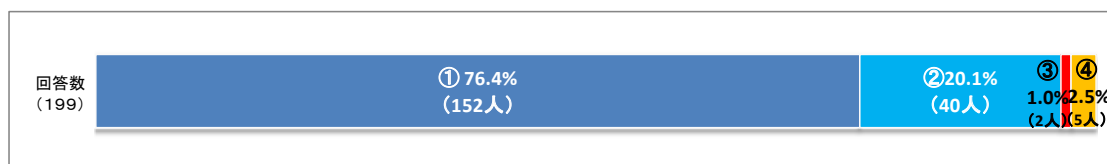
Q1 今回のシンポジウムの前から、豊予海峡ルートの構想があることを知っていましたか。
 ①(内容についても)よく知っていた ②知っていたが内容は知らなかった ③知らなかった



Q2 今回シンポジウムに参加され、豊予海峡ルートの意義・必要性が理解できましたか。
 ①よく理解できた ②ある程度理解できた ③理解できなかった

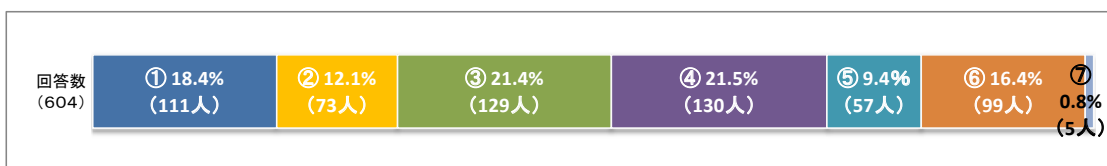


Q3 豊予海峡ルートについて、あなたはどのように思いますか。
 ①ぜひ進めるべき ②どちらかといえば進めるべき ③進める必要はない ④わからない



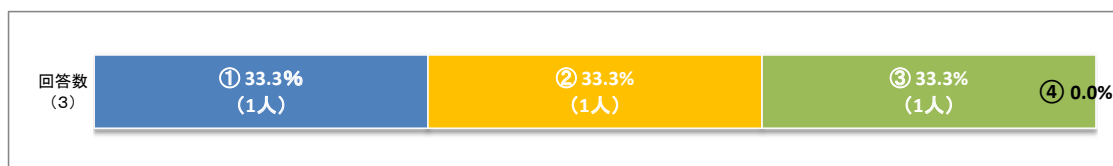
Q4 Q3で「①, ②」(進めるべき)とお答えした方にお伺いします。具体的な理由は何ですか。(複数回答可)

- ①日本全体の発展 ②移動時間の短縮 ③交流人口拡大による観光振興・経済活性化
④災害時の代替ルートの確保 ⑤企業立地のサプライチェーンの拡大 ⑥四国・九州などの魅力向上
⑦その他(※下記参照)



Q5 Q3で「③」(必要はない)とお答えした方にお伺いします。具体的な理由は何ですか。(複数回答可)

- ①多額の費用が必要 ②他に優先すべき事業がある(具体例:※下記参照)
③既存の交通機関で十分 ④その他



Q6 豊予海峡ルート実現に向けて、課題と思われるものは何ですか。(複数回答可)

- ①地域住民の機運醸成 ②必要性への理解 ③整備のための財源 ④施工技術の向上 ⑤周辺自治体の推進体制
⑥その他(※下記参照)



Q4 ⑦その他意見

- ・ 1～6の達成による総合的な見地から
- ・ ビックプロジェクトの実行
- ・ 豊予海峡ルートのうち、鉄道部分に関して特に必要性を感じます。理由：新幹線及び在来線と地方空港・航空を組み合わせることで、全国の地方同士間の交流を創り出していく必要があるため。地方同士の結びつきを図ると大都市に拠点を移さなくても地方でビジネスや仕事・生活できるようになり、大都市一極集中の是正につながる。
- ・ 次世代のため、唯一陸路で繋がっていない九州と四国を繋ぐべき。

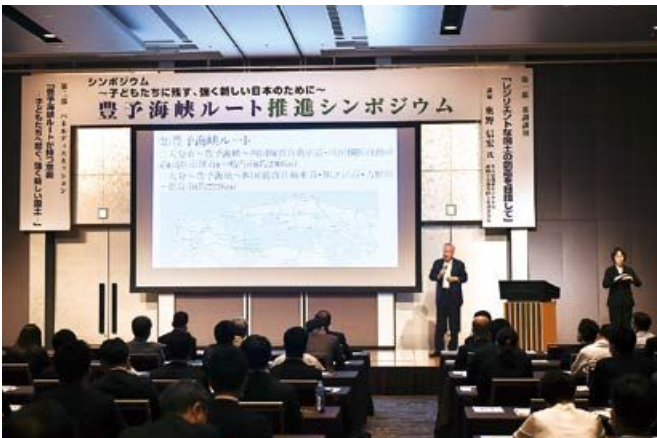
Q5 ②他に優先すべき事業がある(具体例)

- ・ まずは大分市の道路状況の改善

Q6 ⑥その他意見

- ・ 人口増加
- ・ 安全・安心なハード整備
- ・ リーダーの高齢化
- ・ 鉄道と道路を一体的に建設することで建設・維持管理費を効率化すべき。一体整備出来る考え方や制度を創る。鉄道部分は、まず在来線をつなげ、後から新幹線を在来線と並列で造る、など、新規鉄道建設を積極的に建設出来る考え方や制度を提唱していく。そして、今後は「地方→大都市圏」よりも「地方—地方」間のつながりを創り出す考え方を全国的に共有し全国的に(鉄道も含めた)交通インフラ全般を造り直す基礎にしていく事
- ・ 国等の支援体制
- ・ 人口減少に関連した事項への課題
- ・ 整備可否判断のための事業評価の枠組み改善(B/C至上主義)及びインフラ整備のため公的投資に対する広い国民理解の醸成、高速鉄道整備に対するイコールフットingの推進
- ・ 地元及び日本全体の機運醸成
- ・ 起爆剤となるような存在(指原莉乃さんのような芸能人やニータンのようなマスコット等)、市民・経済界・自治体が一致してインフラ整備の最優先と考えること。
- ・ 分かりやすい伝え方

東京会場の様子



東京会場の様子



大分サテライト会場の様子



ご視聴いただき
ありがとうございました。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.